

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	質の高い臨床教育・研究の確保事業			<b>担当部局庁</b>	高等教育局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	令和5年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和7年度	<b>担当課室</b>	医学教育課	医学教育課長 伊藤 史恵			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>				<b>関係する計画、通知等</b>	新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』(令和4年6月7日閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	文教及び科学振興				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	大学・大学病院における、より効率的で質の高い臨床教育・研究実施のための基盤強化及び新たな体制を構築する優れた取り組みを支援し、これを持続的な業務改善につなげることで、医師の働き方改革に貢献する。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<p>【1】基盤強化事業 共用試験公的化、医師の働き方改革及び医療DXの推進に向けて緊急的に必要な設備・機器の整備を支援する。 事業実施期間: 令和5年度(単年度)</p> <p>【2】モデル構築事業 現在の臨床教育・研究上の課題に継続して取り組んでいく新たなスキームや組織体制を構築、即ち新たな臨床教育・研究支援体制の先導的大学病院モデルを構築する優れた取り組みを支援する。 事業実施期間: 令和5年度～令和7年度(予定) 【補助率: 定額補助】</p>								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額(単位: 百万円)</b>			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-	2,251	
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	0	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	2,251	
		執行額	0	0	0				
		執行率 (%)	-	-	-				
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	-	-				
<b>令和4・5年度 予算内訳(単位: 百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	大学改革推進等補助金	-	2,250	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	諸謝金	-	0.7	要求・要望額のうち「重要政策推進枠」: 2,250百万円					
	委員等旅費	-	0.1	大学・大学病院における、より効率的で質の高い臨床教育・研究実施を支援するための経費であり、新規要求					
	計	-	2,251						
<b>活動内容(アクティビティ)</b>	【1】基盤強化事業: 選定大学を対象に、共用試験公的化および医師の働き方改革推進に向けて緊急的に必要な設備・機器の整備を支援								
<b>活動目標及び活動実績(アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	・公的化に伴う試験内容の拡充や試験実施の厳格化に対応する環境整備 ・医師の業務改善の推進と勤務時間の短縮	本事業により基盤強化のための設備・機器を整備した大学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	64
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/事業参加大学数			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-
				計算式	執行額/事業参加大学数	-	-	-	-

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度
	・公的化後の共用試験の確 実な実施 ・令和6年4月の医師の時間 外・休日労働時間の上限規 制開始までに必要な対応を 実施	公的化後の共用試験実施 大学数及び令和6年4月ま でに必要な対応を完了した 大学数		成果実績	件	-	-	-
		目標値	件	-	-	-	-	81
		達成度	%	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等							
活動内容 (アクティビ ティ)	〔2〕モデル構築事業(臨床教育実施体制): 選定大学を対象に、教育担当専任教員等の確保や、優れた取組の実施(教育プログラムの開発等)を 支援							
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	・診療参加型臨床実習の実 施に向けた環境整備(学生 が行う医行為の明確化等) ・新たな教育プログラムの 開発	本事業におけるモデル構築 大学数(補助件数)		活動実績	件	-	-	-
		当初見込み	件	-	-	-	-	10
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/事業参加大学数		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-
		計算式	執行額/事 業参加大学 数	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 7 年度
	・新たな教育プログラムによ る養成人数の増加	新たな教育プログラムを受 講した医学生等の人数		成果実績	人	-	-	-
		目標値	人	-	-	-	-	100
		達成度	%	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等							
活動内容 (アクティビ ティ)	〔2〕モデル構築事業(臨床研究支援体制): 選定大学を対象に、臨床研究支援人材の確保、優れた取組の実施(研究支援者等の養成、活用等)を 支援							
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	・研究支援者向け教材の作 成 ・臨床研究を支援する組織 体制の強化、臨床研究実施 支援システムの構築・改良	本事業におけるモデル構築 大学数(補助件数)		活動実績	件	-	-	-
		当初見込み	件	-	-	-	-	6
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/事業参加大学数		単位当たり コスト	百万円	-	-	-	-
		計算式	執行額/事 業参加大学 数	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 7 年度
	新たな臨床研究支援体制で の臨床研究支援の実施	本事業により強化した臨床 研究支援体制による臨床研 究支援件数		成果実績	件	-	-	-
		目標値	件	-	-	-	-	30
		達成度	%	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等							

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	4 個性が輝く高等教育の振興		
		施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上	政策評価書 URL 該当箇所	
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	-
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-
			該当箇所	-	-

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』においてその必要性が明記されるなど、社会のニーズを的確に反映している事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』に基づいて国が推進することを計画づけられているものであり、地方自治体、民間等にゆだねることができない事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性を確保する。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業は、国が主体となって実施すべき事業であるため、国が負担することが妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	費目・使途の精査を行った上で交付決定を行い、単位当たりコスト等の水準の妥当性を確保する。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	経費の執行については、事業年度ごとに実績報告書等において、支出先・使途の把握、経費の使用状況等の確認に努める。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付決定時及び額の確定手続きにおいて、費目・使途の内容を厳正に精査し、支出の合理性・必要性について適切にチェックする。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	補助金の交付に当たっては、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認を行うなど、効果的、効率的な執行の観点からコスト削減に努める。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	事業年度ごとに実績報告書等において、成果実績が成果目標に見合ったものとなっているか確認する。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、最も効果的・効率的に実施できる者を選定する。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業の効率的・効果的な実施に努め、成果目標に見合った実績を創出する。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	事業成果を普及させるための取組(情報発信等)を実施することにより、成果事例の活用促進を図る。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	

<b>点検・改善結果</b>	点検結果	本事業は、「新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』(令和4年6月7日閣議決定)」に盛り込まれた、より効率的で質の高い医学教育等の実施を推進するものであり、国が財政支援を行いながら強力的に推進する必要がある。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されることになっている。
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、毎年度の進捗状況・取組実績等を報告書により確認するとともに、事業評価を実施し、評価結果を踏まえた事業内容の改善・定着、成果の普及・発信を行うこととする。

**外部有識者の所見**

外部有識者点検対象外

**行政事業レビュー推進チームの所見**

事業目的の達成に向け、効率的な予算執行を図り、費用対効果の向上等に努めること

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	-			
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
(2,251百万円※)

※諸謝金:0.7百万円、委員等旅費:0.1百万円、庁費:0百万円を含む。

〔対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。〕

【基盤強化事業】

A.大学(全64大学)  
(1,610百万円)

- 共用試験公的化対応(医学部) 36件×25百万円
- 共用試験公的化対応(歯学部) 13件×20百万円
- 働き方改革・医療DX対応 15件×30百万円

【臨床教育実施体制】

B.大学(全10大学)  
(400百万円)

- 10件×40百万円

【臨床研究支援体制】

C.大学(全6大学)  
(240百万円)

- 6件×40百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

